

ICTを活用した地域課題解決に向けた取り組み

活動事例 1

ICTシステムを活用した各種サービスの導入効果や実現に向けた方策について、中山間地域の小規模自治体である安芸太田町へ提案しました。

提案骨子

1. ICTシステムを活用したサービスの提供			
①ICカード活用型の定額タクシーの導入 ・路線・時刻表制約のない完全デマンド型サービスを安価に利用 ・利用証発行や利用報告等の事務を効率化	②拠点病院を核とするオンライン診療 ・通院不要で時間・費用・身体的な負担やリスクを軽減 ・医師の移動時間を解消し診療時間確保・効率化	③電子地域通貨と自治体マイナポイント導入 ・買い物等がお得、健康増進等の活動も活発化 ・参加店の利用客・消費額増大、ペーパーレス化で事務負担も軽減・効率化	④データ連携基盤を軸とした全体モデル構築 ・官民の多様な主体の意思決定を最適化・効率化 ・多分野のデータ基盤の共通化により、関連費用を削減
2. 費用削減策		3. 収入確保策	
・補助金活用で初期費用を削減 ・複数自治体がDX推進の連携体制を構築するデジタル合併により年間運営費用を削減		・再エネ関連事業に、廃校校地を賃貸することで、賃料収入を確保するとともに、環境負荷低減にも寄与	
4. 効果的・効率的な運営体制の確立			
・地域商社・DMO等にDX推進事業をアウトソーシングし、既存事業(商社・DMO機能)を含めた運営体制を確立することにより、運営費用の削減や収入確保と雇用創出を図る			

(例) ICカード活用型の定額タクシーの導入

①町内バス
(廃止路線代替バス)



③定額タクシー
(要登録で月8回まで
定額運賃700円(町内))



・利用登録書類を発行
・利用時に電話予約
・書類提示し定額支払

③定額タクシーに一本化
(要登録で利用上限緩和
近距離200円区域設定)



乗車時、車載機にタッチ!

利用証明・記録をICカード等でペーパーレス化(電子データ化)

将来は
オンライン予約・決済
相乗り・配車調整自動化
サブスク導入も

(出典) ICTを活用した中山間地域の課題解決モデルの検討報告書(2022.6)

活動事例 2

廿日市市観光DX協定に基づき、宮島エリアの地域固有の観光資源（歴史、自然、伝統、食など）の魅力をもっと深く分かりやすく観光客に理解してもらうため、デジタル技術活用により新しい観光体験を創出する事業を廿日市市、西日本電信電話(株)、(株)中国放送と連携して推進しました。

観光DXスマート音声ガイド（試作品）



滞在時間や滞在エリアを集計したヒートマップを表示

(出典) NTT西日本資料